

事業報告

スタッフ不在が続く中、7人の新しいボランティアさんが増えたことは嬉しいことでした。また、念願だったバックヤードのリニューアルを実施することができ、ショップ活動が円滑にできるようになったことも大きな収穫でした。

1. 民際支援事業

アジアの人々の生活向上と自立のための活動を支援・連携していきます。

- 1) 支援事業をすすめるため、必要な講座へ参加し理解を深めます。
 - ・9月25日に神奈川県サポートセンターで開催された、「国際子供人権センター（シーライツ）報告会」（カンボジア）にメンバーが参加し、内容を運営委員会で共有しました。
 - ・7月21日にWE21 ジャパン相模原主催「東日本大震災に学ぶ」に4人参加。ショップの防災拠点としてのあり方を再確認しました。
 - ・11月18日、有機農業を支援する「幸福で豊かなコミュニティ」（カンボジア）の報告会に参加しました。
- 2) アジアの女性たちの生活向上に寄与することを目的として、フェアトレード品を継続して扱います。

コーヒー、カレー、ジンジャーティー等のフェアトレード品を引き続き扱っています。年間売り上げは、200,404円でした。

2月23日、24日にショップ店内で実施したフェアトレードフェアでは、コーヒーとジンジャーティーの試飲を実施、2日間でフェアトレード品の売り上げは13,630円でした。ジンジャーティーの試飲は好評で、購入につながりました。
- 3) 海外NGO、国内NGOのプロジェクト支援をおこないます。
 - ・必要に応じ緊急支援に取り組みます。
 - 九州豪雨災害への募金箱を設置し、募金を募りました。
 - 募金4,691円が集まり、ショップからの寄付を加え、1万円をグリーンコープを通じて寄付を実施しました。
- 4) 10月の世界貧困撲滅デーに向けた取り組みをします。

10月17日の世界貧困撲滅デーに向けて、9月2日にボランティア学習会をショップにて開催し、学習と共に布チョッキンを実際にやってみました。（9人参加）

店内に募金箱を設置し、チラシを来店者に渡してアピールにつとめました。店頭募金、「みんなで布チョッキン」への寄付、当日売り上げを含め、合計34,200円を幼い難民を考える会（CYR）（カンボジア）に寄付しました。
- 5) 他のローカルNPOと連携してスタディツアーを実施し、モニタリングをする

共に支援先の人々と交流を図ります。

10月19日に「福島スタディツアー」を実施し、10人が参加しました。被災地を巡り、復興の様子を実際に目にするるとともに、支援先のピープルの代表である吉田さんの話をきくことで、現地に行くことの大切さを実感しました。また、綿摘みも体験し、新拠点地設立に向けて活動を続けているピープルと交流することができました。

- 6) 引き続き 3.11 を忘れないキャンペーンを実施して東日本大震災の被災者に思いを寄せると共に、店頭で現状のアピールを続けていきます。

3月初めから店内に震災関連のニュース等を置き、11日前後にはDVDの映像を流しました。当日の売上とこれまでの店頭募金を合わせて福島で活動しているザ・ピープルに支援金を送ることができました。

店頭募金 11,830円 3/10(土) 売り上げ 25,170円 合計 37,000円

2. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

- 1) チャリティーショップ「WEショップやまと」の運営をします。

ショップスタッフと連携しショップ運営に責任をもちます。

売上 5,041,855円 目標額 6,000,000円 達成率 84%

- ・ショップスタッフ不在が続く中、運営委員、ボランティアでその役割を果たしました。
- ・食器の特価品コーナーを設置し、リユース率を高める努力をしました。

- 2) リメイクチームを中心にリメイク文化を広げます。

9月25日、26日と3月29日～31日の2回、リメイクフェアを実施しました。

リメイク品の売上高は合わせて、39,460円でした。

リメイクフェアに伴い、期間中の売り上げものびました。

- 3) 同じ目的をもって地域で活動している他のローカル組織と連携し、リユース・リサイクル事業をすすめていきます。

・県央合同WE講座「繊維リユース・リサイクルの現状と課題」に4人参加

- 4) プリン石けん作りを通して、環境に優しい暮らしを提案していきます。

天候不順等により、プリン石けんづくりはできませんでした。

- 5) ショップのバックヤードを大きく改装し、動きやすい動線を考えて空間を確保しました。店内もすっきりと見えるようになり、常連のお客様等からも評価の声をいただいています。

- 6) 廃油を毎月、店頭にて回収しました。多くの市民の方々に活用されています。

3. 広報活動

WE21 ジャパン大和の活動を広げ、理解を深めるために情報の受発信に努めます。

・情報紙「WEひろば」の発行 3回 各 100枚

1回目を7月に(支援先等を掲載したので、この回200枚)、2回目を2月に発行しました。

・ショップちらしの発行

拡大ちらし 1,000枚/月 フェア・セールチラシ 各2,000枚

次のようにチラシ配布を実施しました。また、年度後半から新たなチラシを配布しました。

	拡大チラシ	フェアチラシ等
5月	1,000枚	
8月 夏物セール	2,000枚	2,000枚
9月 リメイクフェア	1,000枚	1,000枚
11月 和物フェア	2,000枚	2,000枚
12月 初売りチラシ	1,000枚	1,000枚
1月 冬物セール	2,000枚	2,000枚
2月 フェアトレードフェア	1,000枚	1,000枚
3月 リメイクフェア	1,000枚	1,000枚

- ・ポスター、支援ニュース、パンフレット等を活用した店内掲示を充実させます。
支援報告を店内に掲示し、来店者にアピールしました。
- ・会員へ「めぐりめぐる」、「WEひろば」を発送します。(3回/年)
「めぐりめぐる」を1月に発送しました。7月と2月に「WEひろば」を発行し、会員に郵送しました。
- ・A看板を活用します。
季節や行事に合わせて活用しています。
- ・朝日新聞の桜ヶ丘インフォメーションに数回掲載してもらい、地域にアピールすることができました。(発行部数 3700部)

4. 組織活動

1) 運営委員会

- ① 事業活動の執行に責任を持ちます。

総会の決定に基づき、詳細な年間計画を立て、それに沿って活動しました。

- ② WE21 ジャパン大和の運動を地域に広げ、会員の拡大に努めます。

目標：50人 期首47人でしたが、1人加入し、4人が退会したため、
期末会員数は44人となりました。

- ③ WE21 ジャパン及びショップ運営の充実を図り、運動を広げるためにボランティアの参加拡大をすすめます。

運営委員・ボランティアの働きかけにより、7人のボランティアが増えました。

2) WE講座の開催

WE21 ジャパン大和のあり方を学び、問題意識の向上をめざします。

5月20日の総会終了後、WE講座「シーライツ報告会」を開催しました。

講師：甲斐田万智子さん（認定NPO法人国際子供権利センター代表理事）

参加者 : 13 人

3) ボランティアミーティング

ボランティア・ショップスタッフ・運営委員が交流し、ショップ運営や支援活動等について理解を深められるよう定例化して開催します。

・ **7月に新しいレジの講習会と折り紙による親睦会を開催しました。**

7月5日 10人、7月7日 11人参加

・ **9月2日 世界貧困撲滅デーに向け、ビデオ鑑賞と布チョッキンを実施しました。 9人参加**

・ **2月3日 福島スタディツアー報告、値付けについて確認、会員への誘い。14人参加。ミーティング後、新年会。13人参加。**

4) スタッフミーティング

運営委員会での方針を実現するために代表、事務局、ショップスタッフによる打ち合わせを必要に応じて開催します。

打ち合わせについては、必要に応じて、運営委員会の中で行いました。

5. 平和な社会の実現に向けての活動

さまざまな情勢を捉えながら、平和にむけた運動に取り組みます。

・ **メンバーが平和政策チームに参加しています。**

・ **WE21 ジャパン主催の憲法学習会に2人が参加しました。**

6. 他の市民団体等との連携

活動の拡大をはかるため他団体との交流に努めます。

・ **コミュニティオプティマム福祉地域協議会大和に参加します。**

(市民祭りへの参加、生活クラブの店頭キャラバン)

5月13,14日開催の大和市民まつりに参加しました。生活クラブの店頭キャラバンは依頼がありませんでした。

・ **イベントや講座へ参加します。**

5月28日の国際交流フェスティバルに参加しました。

・ **中高校生のボランティアを受け入れます。**

・ **7,8月に高校生2人のボランティアを受け入れました。**

・ **市民活動センターの依頼により、大学生のインターシップ生3人に活動を紹介し、掲げている目的や事業について説明しました。**

・ **7月と2月の市の市民活動課主催の「出張！ボランティア総合案内所」に申し込み、活動案内チラシを提供しました。**

7. 企業や事業者との連携

1) 社協の赤い羽根共同募金活動に参加します。

5月に5万円の助成金を受けました。10月9日に桜ヶ丘駅頭にて赤い羽根共同募金活動に参加しました。

2) イオン大和店の黄色いレシートキャンペーンに引き続き参加します。

6月11日に店頭に立ち、活動をアピールし、15,200円の寄付を受けることになりました。